第２次柳川市環境基本計画を作りました！

第２次柳川市環境基本計画とは？

本市では、平成 22（2010）年 3 月に「柳川市環境基本計画」（第１次計画）を策定し、環境施策を推進してきました。しかし、近年の地球温暖化や廃棄物問題、生物多様性の危機といった環境問題の複雑化・多様化に伴い、法令や社会・経済の動向等、市の環境施策にかかわる状況は大きく変化しています。

第２次柳川市環境基本計画は、本市のまちづくりの指針である「第 2 次柳川市総合計画　2017～2024」を環境の視点から実現していく役割を担います。現在の本市を取り巻く環境問題に対処するため、環境の保全に関する長期的な目標や取組を明らかにし、本市の良好な環境を保全していくことを目的とします。

本計画の期間は、2020（令和 2）年度から 2029（令和 11）年度までの 10 年間とします。

柳川市の目指す環境像とは？

平成 22（2010）年度に策定した第１次計画により環境施策を推進していますが、水がきれい、まちがきれいと実感している市民は未だ少なく、今後もより一層の取組が求められているため、本計画でも第１次計画に引き続き、環境像を

「水がきれい　まちがきれい　緑あふれる　水郷のまち　柳川」とします。

地球環境

柳川市全体から発生する温室効果ガスは減少していますが、更なる温暖化対策が求められています。

また、異常気象などの気候変動の影響への対応が必要です。

COOL CHOICE（クール・チョイス）とは？

「COOL CHOICE」とは、2030 年度の温室効果ガスの排出量を2013 年度比で 26%削減するという目標達成のために、脱炭素社会づくりに貢献する製品への買換え・サービスの利用・ライフスタイルの選択など、地球温暖化対策に資する「賢い選択」をしていこうという取組のことです。

賢い選択 ★★★★★ 5つ星 省エネ家電

◎冷蔵庫、エアコンは 10 年を目安に星の数の多いものに買い換えよう！
◎照明は LED に交換しよう！

1回で受け取りませんか

◎宅配便の再配達による環境負荷を減らすため、受取時間や受取場所の指定・変更をしましょう！

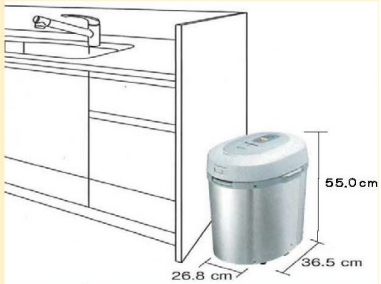
柳川ひまわり園

資源循環

柳川市のごみは８割以上が可燃ごみで、内訳は４割以上が「紙・布類」、約２割を「生ごみ」が占めています。その成分は半分以上が水分となっているため、ごみの分別やリサイクルなどが重要であり、ごみ減量化のために 30・10 運動や3R（リデュース・リユース・リサイクル）の取組を推進します。

ごみ捨て楽チン！こりゃ便利！
電動生ごみ処理機
を使ってみませんか！！

<ゴミ箱タイプ>



<卓上タイプ>

●電動生ごみ処理機とは

温風で乾燥除菌して、生ごみを減量。軽くてかさばらないうえ、イヤなにおいもほとんどなく、ごみ捨てが楽になります。処理物は、肥料としても使えます。

市の補助制度を利用して、電動生ごみ処理機を使ってみませんか？

自然環境

柳川市域の半分以上を占める農地と、水郷柳河の掘割や有明海などの水環境は様々な機能を持ち、多様な生物の生息・生育の場にもなっています。

市民に身近な掘割を活かして、環境保全や生物多様性への理解や関心を深める取組を進めます。

外来生物の例
（左：ブルーギル、右：ブラジルチドメグサ）

（取組例）

- **掘割生物調査**
- **外来生物・有害鳥獣の生息、生育状況や、被害状況の把握**

生活環境

掘割の水質について、BOD（生物化学的酸素要求量）の平均値は第１次計画の目標内ですが、市民アンケートでは、「きれいさ」や「透明度」には満足していないとの回答が多かったため、生活雑排水の処理改善や、ごみのポイ捨ての啓発、水質調査の結果に適宜必要な対策を講じます。

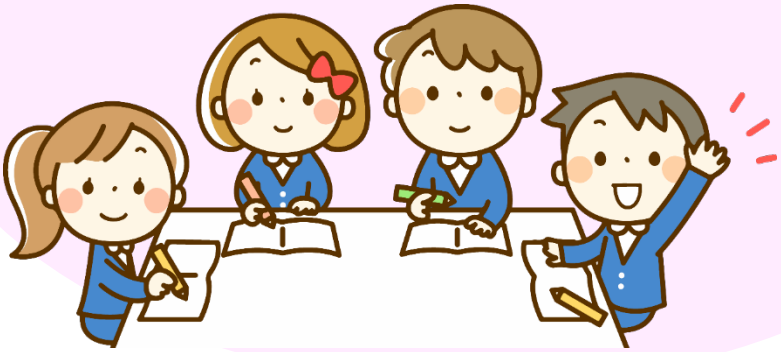
増加傾向にある空家・空地問題については、「柳川市空家等対策計画」等に基づき適正な管理を推進します。

（取組例）

- **掘割水質調査**
  年１回（50 地点）
  月２回（32 地点）※簡易検査
- **公共下水道の整備や合併浄化槽の設置**

参加と協働

2018（平成 30）年より、小学生を対象に掘割生物学習を開始しました。大人から子どもまで地域の環境に関する意識の向上を図ることを推進します。



（取組例）

- **水郷柳川夏の水まつり**
- **有明海なんでん体験隊**
- **リサイクルマーケット**

重点プロジェクトとしてごみ減量に取組みます！

本市では、ごみをなるべく出さず、可能な限り資源を再利用し、適切に処理を行うことで環境への負荷が少ない『循環型のまちづくり』を目指しています。

令和４（2022）年３月稼働予定の新たな焼却施設の建設を進めており、建設費用の負担割合を抑え、施設の延命、維持管理費の削減のために、さらには、温室効果ガス削減のためにも、ごみ減量は大きな課題となっていることから、重点プロジェクトとして設定するものです。

（テーマ）：がんばれば得をする制度を形成

可燃ごみ袋の値上げ	分別の促進	家庭系可燃ごみの減量
資源物袋の値下げ	分別の促進	資源物の再資源化
資源物回収頻度の増加	資源物収集の習慣化	資源物の再資源化
搬入手数料の値上げ	分別の促進 応益負担	家庭系可燃ごみの減量

〇その他にも、生ごみ処理機への助成を引き続き行います。

〇新たに、ごみ分別アプリの活用や資源物回収ステーション設置の試行等に取り組みます。

問 合 せ 先
柳川市市民部生活環境課
〒832-8601　福岡県柳川市本町 87 番地 1
TEL 0944-77-8485 / FAX 0944-73-2516
e-mail: seikan@city.yanagawa.lg.jp